

2023年3月期 決算説明資料

株式会社島精機製作所

2023年5月

2023年3月期決算概要

(百万円)

	2023年3月期	前期比	2022年3月期
売上高	37,886	+22.2%	30,998
営業利益	△2,184	-	△4,268
経常利益	△1,700	-	△3,400
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△5,644	-	△3,589

為替レート(円)	2023年3月期	2022年3月期	
ドル・円	133.53	122.39	期末為替レート(上段)
	134.80	111.87	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	145.72	136.70	
	140.45	130.80	

ハイライト

事業概況

【横編機】

- アジア市場
 - ・中国では、ゼロコロナ政策に伴うサプライチェーンの混乱等により、設備投資が低迷、ホールゲーム横編機の販売が低迷しました。
 - ・東南アジアやバングラデシュでは、成型編機の設備投資が伸長しました。
- 欧州市場
 - ・有名ブランドの自社商品開発の動きに伴い設備投資が活発化し、ホールゲーム横編機や高いデザイン性を発揮する成型編機の需要が増加しました。
- 中東市場
 - ・欧州向けや自国内のファストファッションアパレルからの受注により設備投資が活発化しました。
- 日本市場
 - ・成型編機の販売が増加しました。

【デザインシステム】

- ・デザインシステム「SDS-ONE APEX」シリーズのサブスクリプション型のソフトウェアサービス「APEXfiz」が、欧米や日本のアパレルブランドを中心にライセンス契約数が伸長しました。
- ・自動裁断機「P-CAM」については海外市場を中心に販売が増加しました。

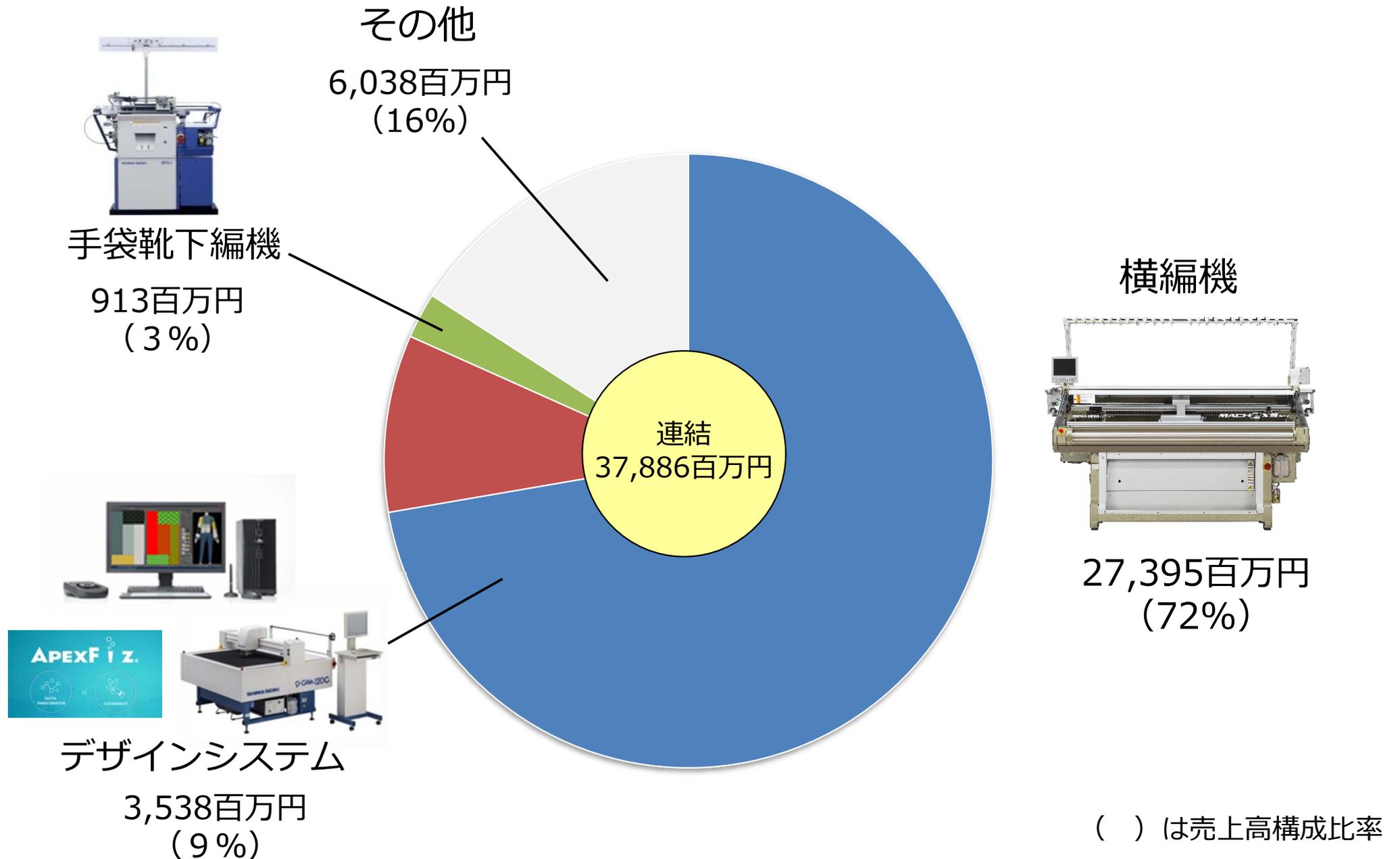
【手袋靴下編機】

日本及び海外大手ユーザーの設備投資が一巡したことで、売上高は大きく減少しました。

利益面

- ・工場操業度が改善し、継続的なコスト削減に努めた結果、売上総利益率が回復傾向になりました。
- ・固定資産の減損損失、関係会社株式評価損などの特別損失（3,436百万円）を計上しました。

事業セグメント別売上高〔連結〕



事業セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	売上高		営業利益	
	売上高	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 (%)
横編機	27,395	+32.4%	2,693	+341.5%
デザインシステム	3,538	+23.3%	773	+5.8%
手袋編機	913	△62.6%	100	+342.3%
その他	6,038	+21.0%	1,014	+92.4%
消去			△6,766	
合計	37,886	+22.2%	△2,184	—

事業セグメント（横編機事業）



ホールゲーム横編機

- ・一着丸ごと立体的に編み上げ、環境に配慮したモノづくりを実現
- ・SWG-XRを発表
- ・ファッション小物・マスク製作等に適した「SWG-N2」

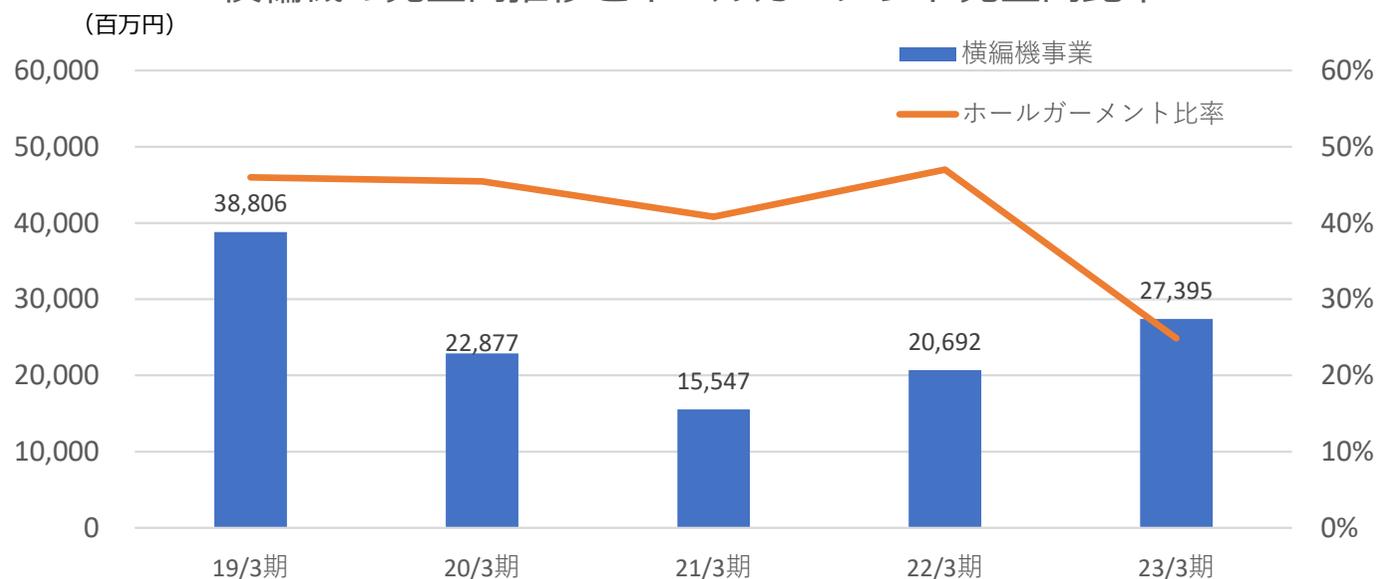


コンピュータ横編機

- ・パーツ毎に生地を編み、縫製・リンク作業で完成させる
- ・編地に付加価値を高める「SRY」「N.SIR」「N.SVR SP」
- ・アジア等ボリュームゾーンの生産に用いられる「N.SVR」「N.SSR」

ホールゲーム売上高比率が20%台に低下

横編機の売上高推移とホールゲーム売上高比率



事業セグメント（デザインシステム事業）



3Dデザインシステム「SDS-ONE APEX4」

- ・編み機のプログラミング、パターンCADに加えて、横編み、織物、プリント、丸編みなどのテキスタイルデザインやシミュレーションに特化したソフトウェアを搭載



自動裁断機「P-CAM」

- ・自動裁断機のみならず、生地裁断の前後工程の省人化を実現するため、延反からラベリング、ピックアップ装置を提供。「Shima Cutting Solutions」としてアパレル業界、自動車、産業資材、など様々な業界へ浸透を図っている

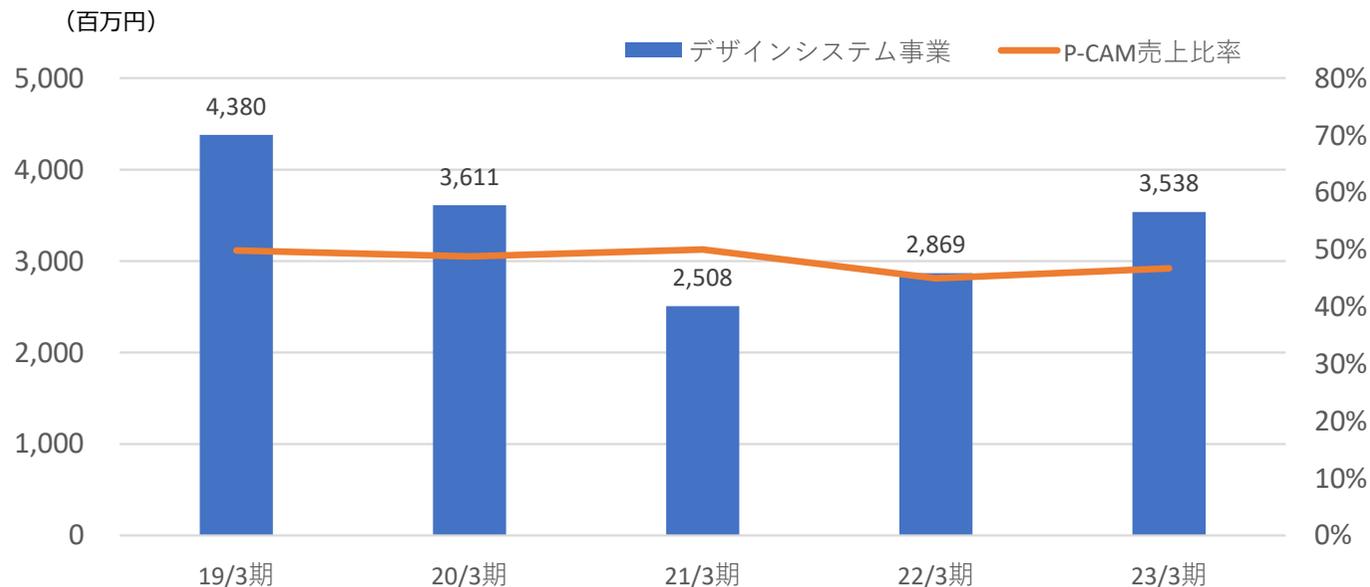
デザインソフトウェア「APEXFiz」



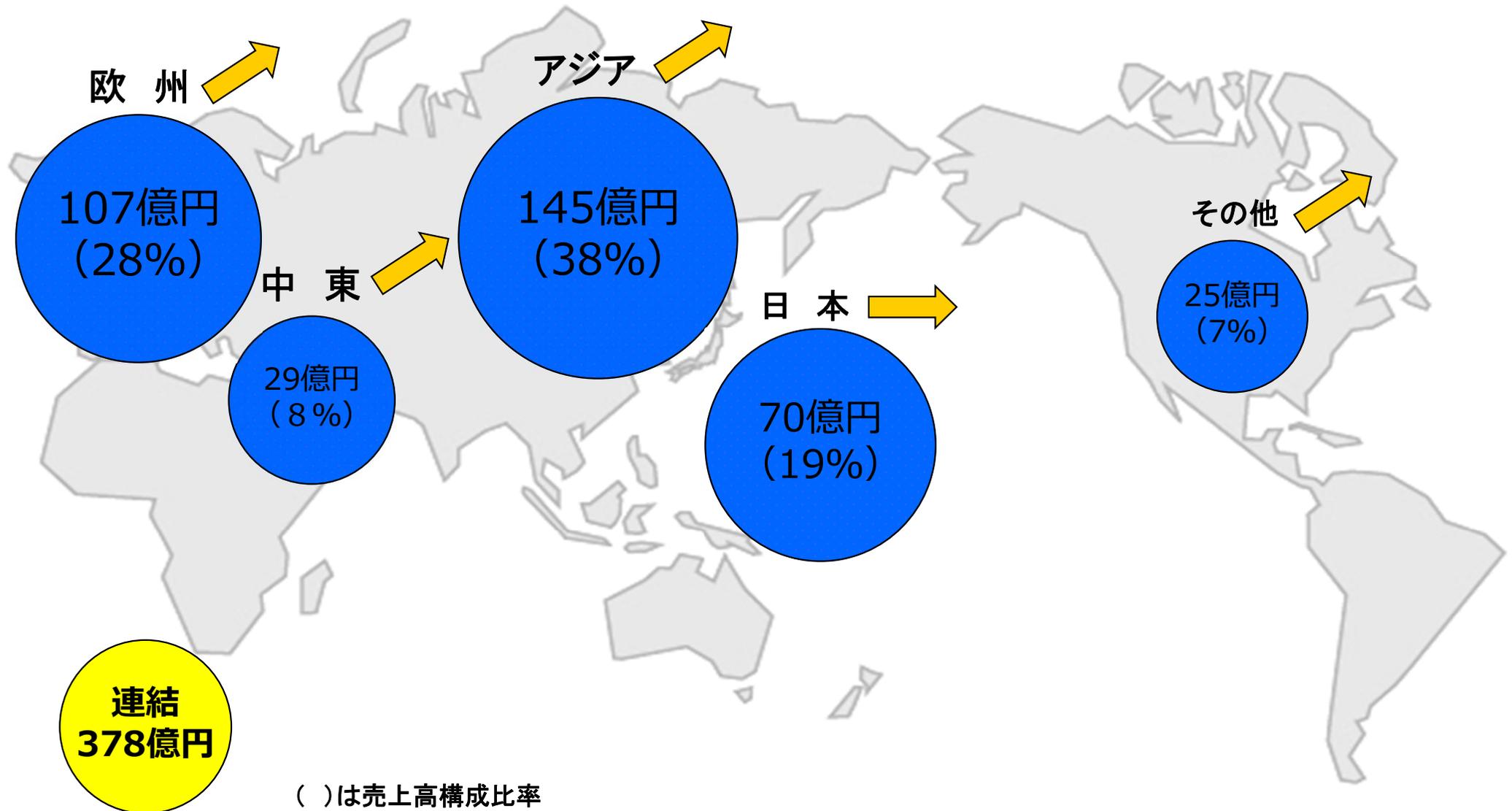
- ・デザインシステムのサブスクリプション型ソフトウェア
- ・お手持ちのパソコンにダウンロードし、いつでもどこでもデザインが可能に

当期はP-CAMの売上高比率は47%

デザインシステム事業の売上高推移とP-CAMの売上高比率



地域別売上高構成〔連結〕



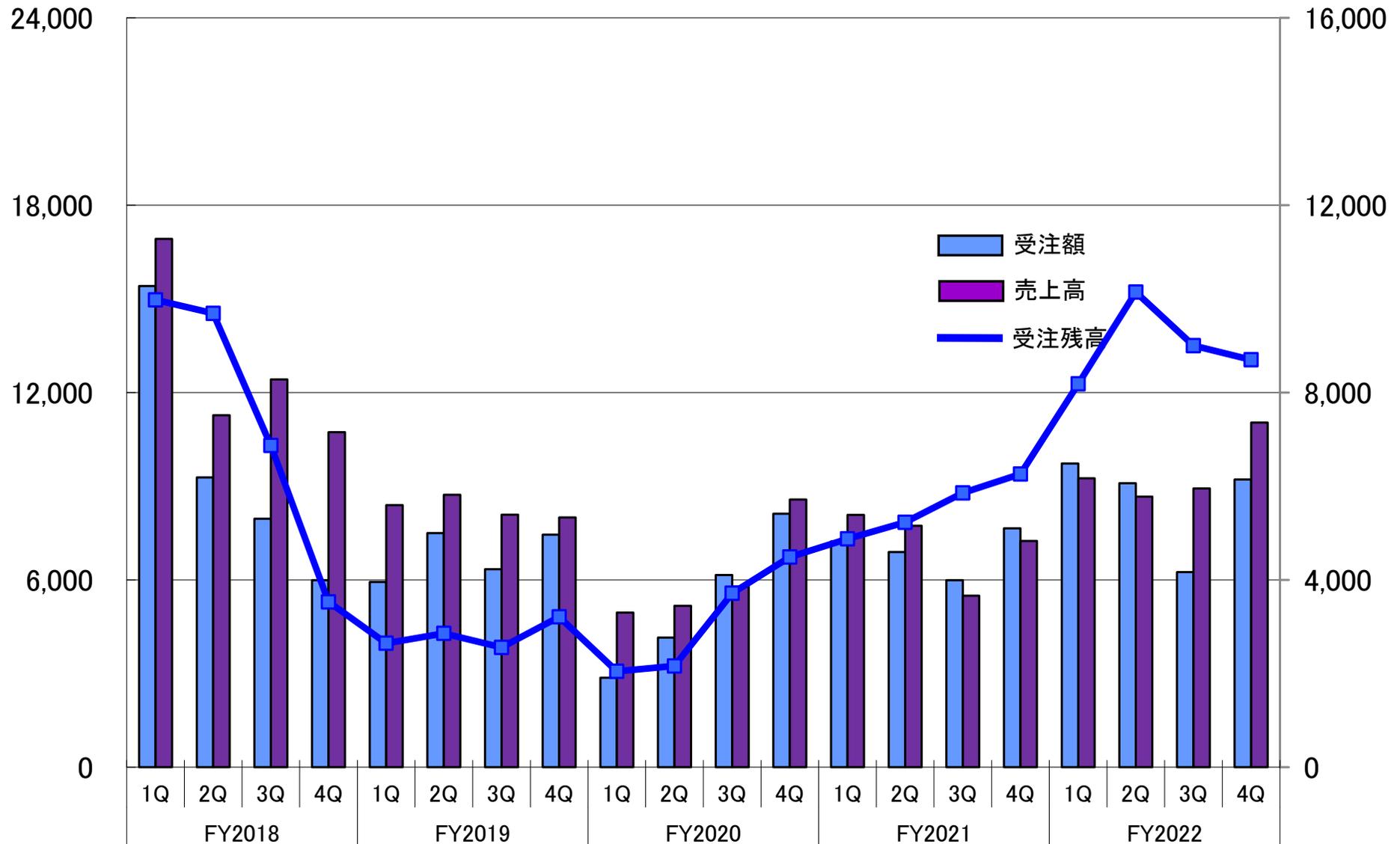
地域別売上高〔連結〕

(百万円)	2023年3月期	2022年3月期	前年同期比 (%)
日 本	7,025	6,928	+1.4%
欧 州	10,797	8,772	+23.1%
ア ジ ア	14,516	11,379	+27.6%
中 東	2,982	2,201	+35.5%
その他(海外)	2,563	1,715	+49.4%
合 計	37,886	30,998	+22.2%

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2021/3				2022/3				2023/3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,954	5,171	5,787	8,574	8,081	7,733	6,691	8,491	9,252	8,665	8,929	11,038
営業利益	△1,970	△2,213	△2,371	△2,588	△358	△997	△1,639	△1,273	△712	276	△208	△1,540
経常利益	△1,414	△1,721	△1,777	△2,360	△154	△689	△1,473	△1,082	△516	309	△198	△1,294
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△1,463	△1,745	△1,861	△12,796	△271	△797	△1,567	△952	△686	174	△545	△4,586

(百万円)

受注高	2,868	4,153	6,160	8,120	7,235	6,897	5,994	7,651	9,726	9,093	6,251	9,216
受注残高	2,048	2,163	3,716	4,489	4,877	5,229	5,858	6,260	8,186	10,145	9,001	8,700

貸借対照表〔連結〕

現金及び預金 当期末17,530百万円（前期末24,339百万円）で、前期末より6,808百万円減少
 売掛債権 当期末43,560百万円（前期末39,498百万円）で、前期末より4,062百万円増加
 たな卸資産 当期末20,348百万円（前期末15,098百万円）で、前期末より5,249百万円増加
 自己資本比率 85.2%（前期末87.2%） 1株当たり純資産2,493円

（百万円）	2023年3月期 期末	2022年3月期 期末	増減
流動資産	77,958	74,536	+3,422
固定資産	23,081	27,273	△4,191
（有形固定資産）	14,797	16,250	△1,452
（無形固定資産）	96	2,114	△2,018
（投資その他の資産）	8,187	8,907	△719
資産合計	101,040	101,809	△768
流動負債	10,773	8,188	+2,585
固定負債	4,158	4,825	△666
負債合計	14,932	13,013	+1,919
株主資本	79,908	85,899	△5,989
その他の包括利益累計額	6,159	2,862	+3,297
新株予約権	19	16	+3
非支配株主持分	19	17	+1
純資産合計	86,107	88,795	△2,687
負債及び純資産合計	101,040	101,809	△768

（百万円未満切り捨て表示）

キャッシュ・フロー計算書〔連結〕

営業活動によるキャッシュ・フロー 売上債権、棚卸資産の増加などにより、71億78百万円の資金の減少
 投資活動によるキャッシュ・フロー 有形固定資産の取得による支出などにより、21億33百万円の資金の減少
 財務活動によるキャッシュ・フロー リース債務の返済、配当金の支払いにより、3億9百万円の資金の減少
 現金及び現金同等物の期末残高 前年末に比べ87億54百万円減少しました。

(百万円)

項 目	2023年3月期 期末	2022年3月期 期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,178	6,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,133	△1,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309	△7,759
現金及び現金同等物に係る換算差額	866	1,275
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△8,754	△1,311
現金及び現金同等物の期首残高	24,271	25,582
現金及び現金同等物の期末残高	15,517	24,271

(百万円未満切り捨て表示)

2024年3月期業績計画〔連結〕

	(百万円)		(百万円)
	2024年3月期	前年比(%)	2023年3月期
売上高	43,000	+13.5%	37,886
営業利益	1,000	—	△2,184
経常利益	1,700	—	△1,700
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,200	—	△5,644

通期計画の前提 為替レート 130円/米ドル 140円/ユーロ

為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル41百万円 ユーロ6百万円

中期経営計画「Ever Onward 2023」の重点施策

① ホールゲーム事業の最強化

▶ 成型機中心からWG機中心の事業構造へ

② ソリューションビジネスへの業態変換

▶ ファッション業界全体のサプライチェーン改革へ

③ 独自性を持った事業多角化の推進

▶ 早期の新事業立ち上げによる経営安定化へ

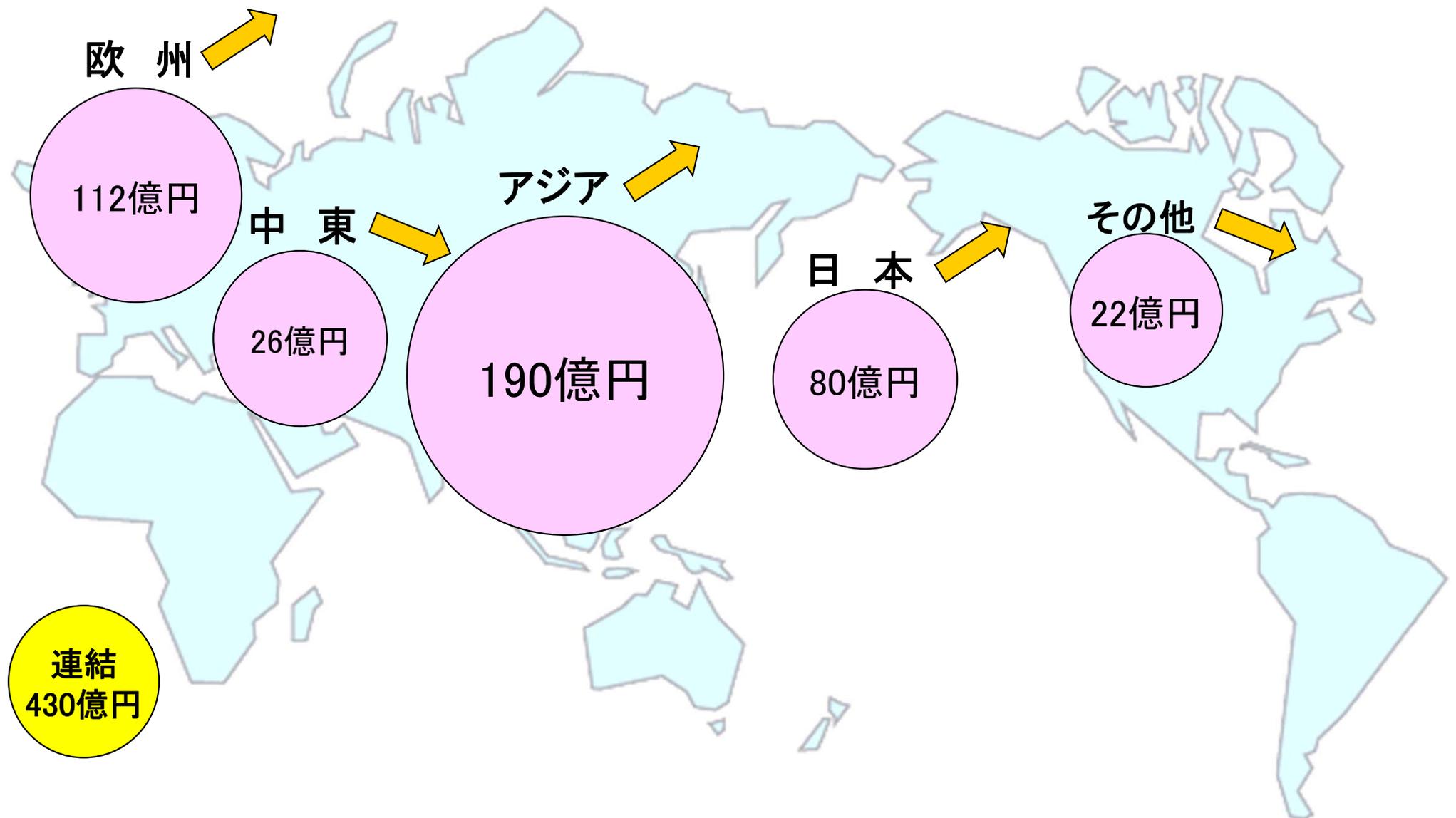
④ 社会の変化に対応した経営基盤の再構築

▶ コロナ後を見据えた経営体制へ

2024年3月期業績計画〔連結〕【事業セグメント別】

(百万円)	売上高	前期比 (%)	営業利益	前期比 (%)
	通 期		通 期	
横 編 機	31,850	+16.3%	5,700	+111.6%
デザインシステム	3,700	+4.6%	800	+3.5%
手袋靴下編機	950	+4.0%	100	△0.2%
そ の 他	6,500	+7.6%	1,100	+8.4%
消 去			△6,700	
合 計	43,000	+13.6%	1,000	—

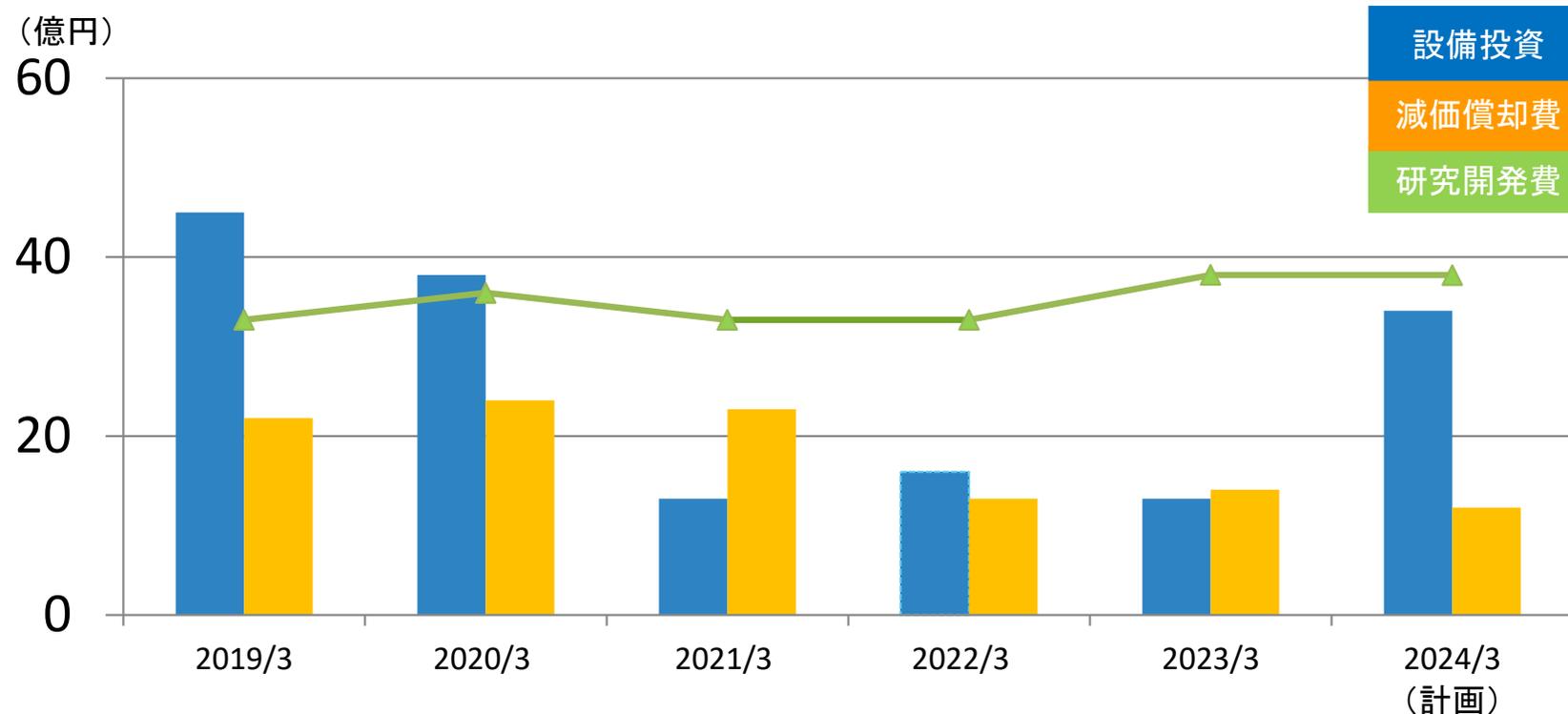
2024年3月期業績計画〔連結〕【地域別売上高】



研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

23年3月期（実績） 設備投資13億円（リース資0.9億円含む）
減価償却費14億円、研究開発費38億円

24年3月期（計画） 設備投資34億円（リース資産6億円含む）
減価償却費12億円、研究開発費38億円

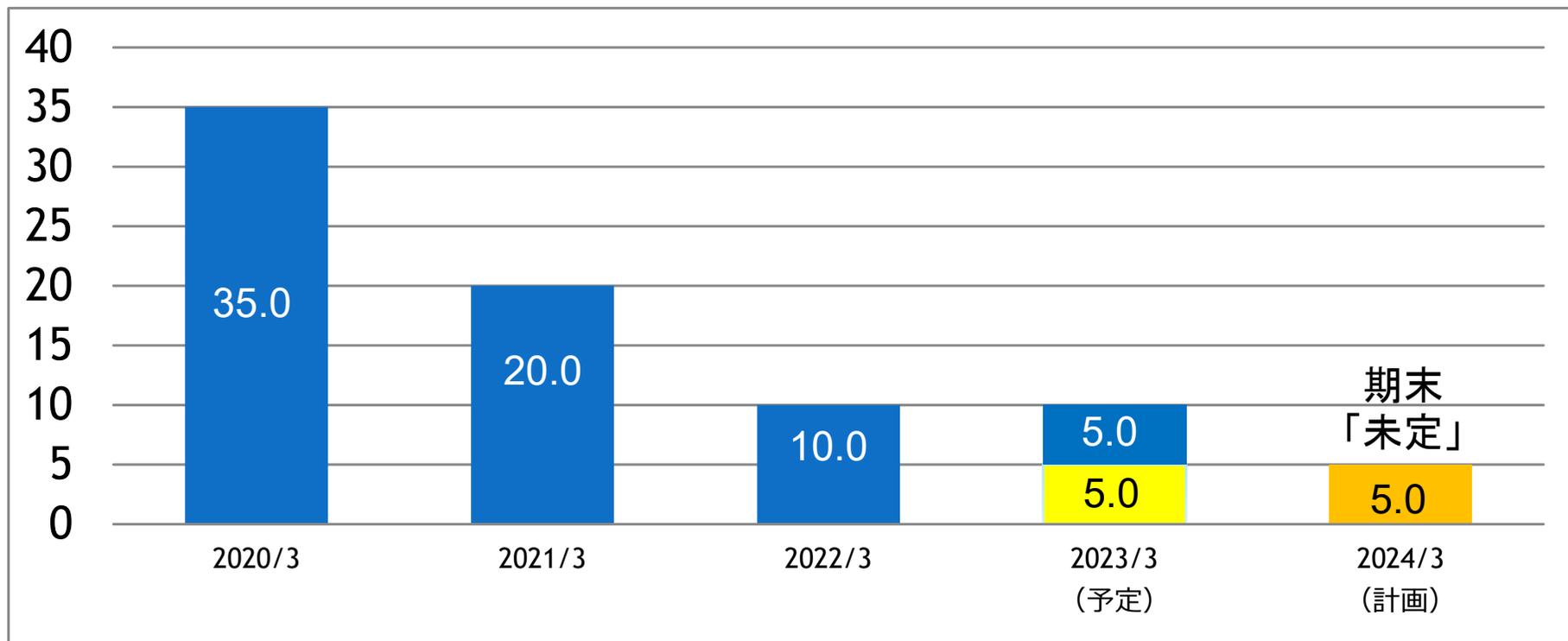


株主還元

2023年3月期(予定) 中間配当金5円を実施、期末配当金5円を予定

2024年3月期(計画) 中間配当金5円 期末配当「未定」

(円)



2023年度営業活動

ITMA2023（イタリア・ミラノ）

2023年6月8日～14日開催

世界最大級の繊維機械総合見本市



08 — 14
JUNE 2023

FIERA MILANO RHO
MILAN . ITALY
www.itma.com

ITMA ASIA + CITME（中国・上海）

2023年11月 開催予定（2022年開催が延期）

アジア最大級の繊維機械総合見本市

- 最先端の横編機、デザインシステム、自動裁断機、手袋靴下編機、およびソリューションを出展予定

・ ホールガーメント横編機「SWG-XR」

- ・ 従来機種と比べて25%以上の生産効率向上
- ・ デザインの多様化を実現し、オールシーズン対応
- ・ お客様のオペレーションを簡素にし、省人化／省力化
- ・ フラッグシップモデルとしてホールガーメント浸透を図る



・ 自動裁断機「P-CAM R」

「世界一の裁断技術への挑戦」を掲げて裁断機能を抜本的に見直した「P-CAM R」を開発

・ 手袋編み機「SPG-R」

パイル手袋専用編み機の次世代モデル「SPG-R」を開発し、ラインアップを充実

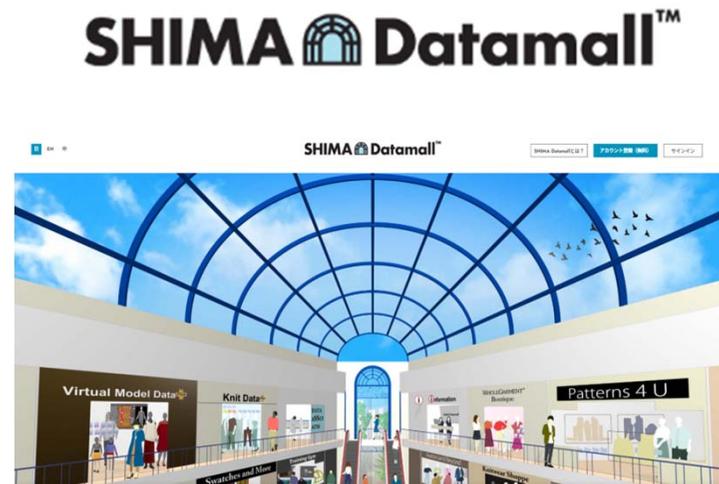


トピックス

「SHIMA Datamall」

ファッションアイテムの企画・生産・販売に役立つデジタルデータを検索・閲覧・購入ができるオンラインサービス「SHIMA Datamall（シマデータモール）」を開設。

yarnbankなど当社の様々な製品やサービスと組み合わせ、アパレル業界のDX化を推進します。



「BLUEKNIT store」

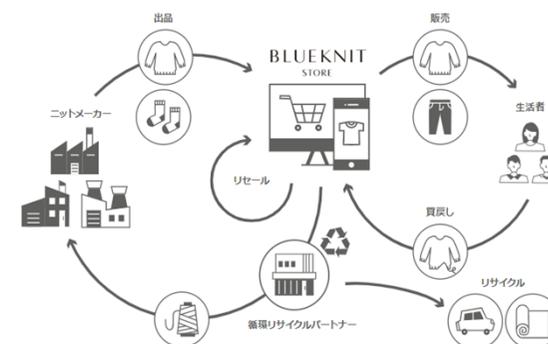
国産ニット製品を販売するオンラインショッピングサイト「BLUEKNIT store（ブルーニットストア）」を開設。

“BLUEKNIT”のネームタグがついている商品を買戻しするなど、廃棄ゼロのニット製品を提供するプラットフォームとして発展させていきます。

この取り組みを通じ、国内メーカーのD2Cビジネスを応援し、繊維製品の国産化率の向上も合わせて目指していきます。



BLUEKNITのサーキュラーエコノミー



SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。